

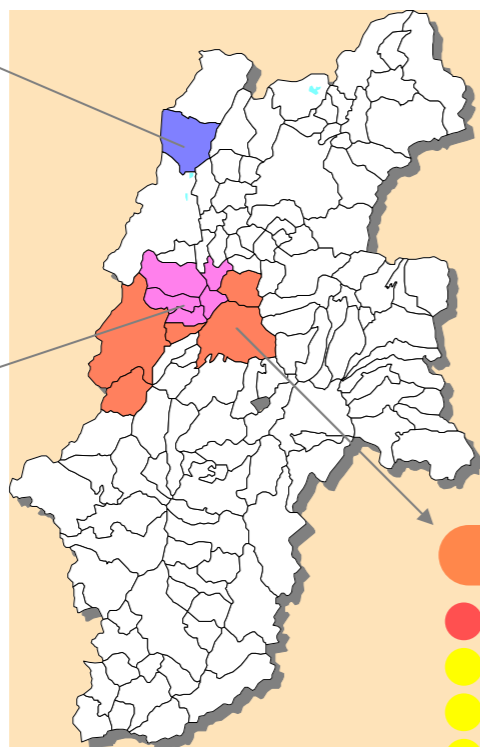
城西医療財団のご紹介

北安曇郡 白馬村

- 神城醫院
- 白馬メディア
- 'S' ウェルネスクラブ神城
- 北アルプス訪問看護ステーション
- 北アルプス訪問介護ステーション
- かたくりの郷

安曇野市

- 豊科病院
- 安曇野メディア
- 援護寮：アルプスドミトリー
- グループホーム：第一飛鳥荘・第二飛鳥荘
- 安曇野北訪問看護ステーション
- 安曇野北訪問介護ステーション
- ミサトピア小倉病院
- 安曇野南訪問看護ステーション
- 安曇野北訪問介護ステーション
- 筑摩東訪問看護ステーション



- 病院・診療所
- 介護老人保健施設
- 精神障害者支援事業
- 疾病予防施設
- 訪問看護ステーション
- 訪問介護ステーション
- 在宅介護支援センター
- 認知症高齢者グループホーム

松本市

- 城西病院
- 援護寮：メンタルドミトリー
- 福祉ホーム：メンタルホーム
- 地域生活支援センター：燦メンタルクラブ
- グループホーム：景岳館・大富荘
- 健康センター
- 'S' ウェルネスクラブ
- 松本西訪問看護ステーション
- 松本西訪問介護ステーション
- 松本西在宅介護支援センター

いつも優しく

特別医療法人 城西医療財団

〒390-8648
 長野県松本市城西1-5-16
 TEL 0263-33-6400
 FAX 0263-33-9920

いつも
優しく

介護サービス等についてのお問い合わせは
 下記居宅介護支援事業所までご相談ください。

- 「しろにし」 (城西病院内)
- 「とよしな」 (豊科病院内)
- 「あづみの北」 (安曇野メディア内)
- 「みさとぴあ」 (小倉病院内)
- 「しろうま」 (白馬メディア内)

ホームページ
<http://www.shironishi.or.jp>

いつも優しく

発行のごあいさつ

特別医療法人
 城西医療財団 理事長 関 健



目次:

発行のごあいさつ 理事長 関 健	1
祝 安曇野市 誕生 住所変更のご案内	2
広報紙のご紹介	3
総合防災訓練の様相 城西病院	3
松本市総合防災訓練に 参加して	3
城西医療財団の施設の ご紹介	4

院外広報（PR）紙の発刊は久しく待たれていた。かつて当財団には、400号にもなんなんとする院内報があったが、内容の見直しの時期を経て、この1、2年の間にそれぞれの病院・老人保健施設毎に発刊されるようになった。「プラタナス（城西病院）」、「雪がた（豊科病院）」、「さくらだより（ミサトピア小倉病院）」、「ひなたぼっこ（安曇野メディア）」、「かたくり通信（神城醫院・白馬メディア）」等である。職員の情報共有化にとって重要な媒体である対内広報紙の発刊は、有意義である。一方、医療機関として、利用者に対する広報活動もまた重要である。対外広報（PR）紙の発刊によって、利用者との繋がりが増

し、正しい診療に寄与することが期待される。

広報文化委員会が考えた紙名「いつも優しく」は、法人の理念の中にある一語からとっている。医療人としての態度を表す理念である。どんな時でも、どんな所でも、どんな人にでも優しく接するの謂である。言うは易く行うは難し、完全に実践するには修行が必要である。敢えて私自身を含めて職員諸君にあるべき姿として掲げたわけである。

ご利用される方々には、職員の対応についてお気づきのことがあれば、どしどしご意見をお寄せいただきたい。

城西医療財団のホームページには、施設の紹介とともに、各種お知らせを掲載してありますので、併せてご利用いただきたい。（ホームページ <http://www.shironishi.or.jp>）

親切

誠実

清潔

明朗

創意

科学性

公益性

いつも優しく

祝 安曇野市 誕生

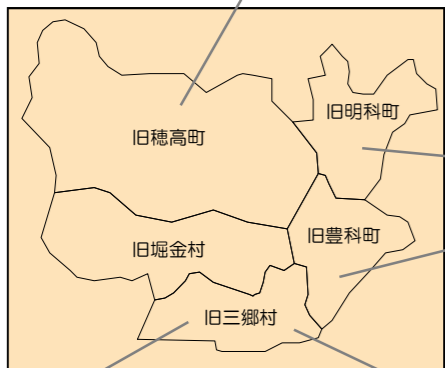
平成17年10月1日、旧豊科町、旧穂高町、旧三郷村、旧堀金村、旧明科町の5町村の合併により安曇野市が誕生しました。新市誕生を心よりお祝い申し上げます。

(関連法人) 社会福祉法人 七つの鐘
老養所・デイサービスセンター すずらん

人口 98,961人
(平成17年11月1日現在)



市章は、安曇野市の「安」の字を图案化し、色彩については自然をモチーフにした緑色。デザインの中央上部の輪は、安曇野市民を輪でつみ、団結をするイメージを表しているそうです。
(安曇野市ホームページより)



筑摩東訪問看護ステーション

豊科病院
介護老人保健施設 安曇野メディア
安曇野北訪問看護ステーション
安曇野北訪問介護ステーション

ミサトピア 小倉病院
安曇野南訪問看護ステーション

(関連法人) 社会福祉法人 七つの鐘
介護老人福祉施設 小倉メナー
小倉デイサービスセンター
安曇野南訪問介護ステーション

新市誕生に伴い住所が変更になりました。(電話番号は変わりません)

◎ 旧豊科町

- 豊科病院
安曇野市豊科5777-1
- 介護老人保健施設 安曇野メディア
安曇野市豊科5633-1
- 安曇野北訪問看護ステーション
- 安曇野北訪問介護ステーション
安曇野市豊科5637-15

◎ 旧三郷村

- ミサトピア小倉病院
- 安曇野南訪問看護ステーション
安曇野市三郷小倉6086-2

◎ 旧明科町

- 筑摩東訪問看護ステーション
安曇野市明科東川手606-2

◎ 旧穂高町

- ※関連法人 社会福祉法人 七つの鐘
- 老養所・デイサービスセンター すずらん
安曇野市穂高5620-1

※関連法人 社会福祉法人 七つの鐘

- 介護老人福祉施設 小倉メナー
- 小倉デイサービスセンター
- 安曇野南訪問介護ステーション
安曇野市三郷小倉6079-1

私たち城西医療財団の各病院・施設等の広報紙を紹介します。

わたくしたち城西医療財団は、松本市、安曇野市豊科・三郷・明科、北安曇郡白馬村に事業所を構え、事業をおこなっております。



城西病院の『プラタナス』

豊科病院が発行する『雪がた』、介護老人保健施設安曇野メディアが発行する『ひなたぼっこ』。ひなたぼっこは、利用者に向け、同じ内容を大きく手書きし、館内の壁一面に掲示されていて、入所、通所の利用者から好評です。



豊科病院の『雪がた』

現在5つの広報紙が各施設で発行されています。

松本市にある城西病院並びに付属施設や訪問看護、訪問介護ステーションが毎月発行する『プラタナス』には、私の趣味や各部署の紹介がリレー形式で紹介されています。



壁に大きく掲示し、利用者から好評です。



安曇野メディアの『ひなたぼっこ』

ミサトピア小倉病院は『さくらだより』、白馬の神城醫院、白馬メディアは多彩な行事の様子が書かれています。



白馬の『かたくり通信』

本紙名の『いつも優しく』はわたくしたち法人の理念の中のことばを引用しました。いつでも、どこでも、誰にでも優しく接していくという姿勢を表し、紙名としました。今後は季節の話題などタイムリーで有益な情報をお届けできるよう努めて参ります。

松本市医師会主催の総合防災訓練に参加 平成17年10月29日(土)

松本市医師会が主催した平成17年度信州まつもと空港航空機事故総合訓練(多数負傷者救急救助訓練)が10月29日におこなわれ、城西病院から、医師、看護師、事務の4人が参加しました。当日は実際の航空機を使っでの訓練をおこない、多くの関係機関が共同して訓練をおこないました。小雨交じりの寒い中ではありませんでしたが、充実した訓練がおこなわれました。



総合訓練を実施

平成17年10月6日(木) / 城西病院

城西病院では、大規模な事故を想定した総合訓練をおこないました。JR北松本駅北側の踏切付近で、列車とマイクロバスが衝突し列車が脱線、マイクロバスの乗員・乗客を含め多数の負傷者が発生したとの想定で訓練がおこなわれました。

次々と救急玄関に運ばれる負傷者役の職員(30人)は、胸に症状を書いた紙を下げ、それをもとに医師

が重傷度別に選別(トリアージ)し、レントゲン、CT、検査、治療に当たった。当日は、職員ひとりひとりが担当する任務に真剣に取り組み、実際の場面では何をしなければならぬのかを考える上でも貴重な訓練となりました。今後更に訓練を積み有事の際の対応に備えたいと思います。

